

ハイライト

- 第 1 回協議会で、市町村へ積極的な情報発信を呼びかけ
- 協議会のワークショップを通して、今年度の県移住事業「地域の世話役養成塾」「移住ツアー3種」を具体的に知ってもらいました。
- 相談会場へ多くの来場者。市町村 PR トークセッション「ゆんたくタイム」、個別相談会共に大盛況

目次

- 平成 30 年度第 1 回沖縄県移住受入協議会実施レポート
…1
- 沖縄移住相談会・移住フェア(東京)へ過去最大 10 市町村が参加！
…2

平成 30 年度第 1 回沖縄県移住受入協議会

実施レポート

第 2 部にワークショップを取り入れた新しい試みも



去る平成 30 年 6 月 1 日(金)に、平成 30 年度第 1 回沖縄県移住受入協議会を実施しました(於:沖縄県自治研修所)。協議会第 1 部には 19 市町村 27 名が出席し、その後の第 2 部も 11 市町村 15 名が引き続き参加しました。

第 1 部では、県地域・離島課移住担当者が今年度の県事業の説明を行いました。例年と同じく市町村と共に取り組む「移住フェア出展」や「移住相談会の実施」を始め、今年度新しい取組と

なる 3 種の移住ツアーについて、また地域での移住者受入を円滑にするため、地域の方々にもその一役に関わって頂けるよう行動のヒントや考え方を伝える「地域の世話役養成塾」について説明致しました。また、新年度に移住担当者が集う場を利用して、県が運用する移住応援サイト「おきなわ移住の輪—結—」における市町村の情報発信の場があることを改めてご案内しました。当ウェブサイトは、開設 3 年目にして沖縄移住に興味がある、検討している方々の多くのアクセスを得ており、このサイト内にある市町村の PR ページや、ニュース投稿を利用して移住情報を発信することのメリット、また反響やニーズのある記事内容の傾向について紹介しました。幸い本協議会での説明後、各市町村担当者の方々によって多くの市町村の情報を「おきなわ移住の輪」の市町村ニュースページに投稿頂くことが出来ました。(次ページへ続く)



今後の予定

【移住フェア】

- 7 月 28 日(土)
おいでや！いなか暮らしフェア
(大阪)
- 9 月 9 日(日)
ふるさと回帰フェア(東京)

【沖縄移住相談会(県主催)】

- 9 月 8 日(土)
- 10 月(予定)
(東京)
- 7 月 29 日(日)
(大阪)

【地域の世話役養成塾】

- 第 1 回 6 月 25 日(月)南部
6 月 26 日(火)北部
- 第 2 回 8 月前半実施予定

第2部では、県事業である「地域の世話役養成塾」と「移住ツアー3種」についてワークショップを行いました。「地域の世話役養成塾」については、同事業を市町村担当者に知って頂き、ご自分の自治体や地域レベルで適任と思われる方をその場で考えていただきました。この場で出た世話役の候補の方に、ぜひ後日コンタクトを取って、実際の養成塾へ参加を促して頂ければと思います。(8月実施の第2回養成塾の参加者も現在募集中です！)

次に「移住ツアー3種」については、広々とした会議室スペースを使い、体や手先を動かすワークショップを通して、ツアーについて楽しんで「知って」、「アイデアを生み出して」もらいました。ファシリテータの田中 啓介(ニックネーム”じょりい”)さんの快活な説明とクリアな指示で、皆さん和気あいあいとした雰囲気の中で、まずは「ツアー参加者の目線で」アイデアレベルのツアー内容をどんどん出し合い、今度は視点を変えて「ツアー実施者の立場」から、更にツアー内容のアイデアを出してもらいました。参加者からは、自分の地域であればこんなツアーが出来そう、これを探り入れたら面白そう、こんなニーズに応じた内容だと良いツアーが出来そうだ、など、様々なアイデアが出ており、ツアー実施に向けたきっかけ作りになって頂けたと思います。実際に後日、本ワークショップに参加した市町村から、実際にツアー実施のご相談を頂くなど嬉しい反応が見られています。



沖縄移住相談会・移住フェア(東京)へ過去最大10市町村が参加！

相談会への来場者は50組78名、「ゆんたくタイム」「個別相談」共に大盛況！



6月9日(土)には東京浜松町にて県主催の移住相談会を実施し、翌10日(日)には、ふるさと回帰支援センター(有楽町)の「九州・山口・沖縄IJUフェア」に出展して参りました！

今回相談会へ相談ブースという形で参加したのは、粟国村、伊是名村、久米島町、国頭村、多良間村、石垣市、竹富町、与那国町の8市町村。また、今帰仁村と大宜味村が見学と自治体PRの目的で参加しました。

当日の来場者は、50組78名。単身の若い方から、小さなお子さん連れのご家族、リタイア後の悠々自適の生活をご検討中の方など、多岐に渡る層の方にお越し頂きました。

本相談会の前半には、3市町村担当者がステージに上がってのトークセッション「ゆんたくタイム」を3回実施。我が地域の一押しをPRしました。今回出展した離島について「暮らす」視点で知るの初めてという来場者も多く、興味深く観覧頂けたように思います。

後半の相談会も大変盛況で、30分ずつに区切った相談時間の枠はどのブースもほぼ途切れることなく埋まっていました。参加頂いた市町村担当者の感想も好評で、沖縄移住に興味があり、真剣に移住を検討中の方々に多く出会えたのは収穫であったとお話頂けたことが嬉しかったです。

翌日の移住フェアは、朝から雨が降り、全体の客足も昨年度に比べて少ない印象がありました。しかし、沖縄は南国パワーでイベント中の各シーンで奮闘して参りました！各地の地域おこし協力隊による3分間リレートークでは、粟国村地域おこし協力隊の松下さんが、島の魅力や特徴、ご自身の体験を披露し、観覧者の関心を集めていました。また、沖縄県のフリーイベントタイムでは、委託業者の眞榮里さん(プロモーションうるま)が、趣たっぷりの三線と唄で、会場を盛り上げて下さいました。沖縄全体のブースエリアでは、市町村担当者の積極的なチラシ配布や、アピールが功を奏し、ブースを訪れる相談者さんも多くいらしたように見えました。県の相談ブースの空き待ちの間に、参加市町村の課長さんが率先して待っている来場者さんの対応をして下さったり、見学で入っていた今帰仁村、大宜味村の担当者さんも会場全体を見ながら来場者の方の誘導を行って頂くなど、沖縄県勢全員でブーススペース全体を盛り上げて下さったように感じます。ご協力信にありがとうございます。



尚、本相談会、移住フェアについての詳しいレポートについて情報を閲覧したい、今後の相談会等への参加や見学を検討したい、という市町村担当者さんがいらっしゃいましたら、沖縄県地域・離島課移住担当(小橋川、黒川)までお問合せ下さいませ。